

外国語

1年	English Communication I (会話・発表重視)
1年	英語コミュニケーション I (読解・文法重視)
1年	英語コミュニケーション I
1年	論理・表現 I
2年	English Communication II (会話・発表重視)
2年	英語コミュニケーション II (読解・文法重視)
2年	英語コミュニケーション II
2年	論理・表現 II
3年	英語コミュニケーション III
3年	論理・表現 III
3年	英語演習
3年	時事英語
3年	higashino special (HEIM & HEOM)
3年	英語探究

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースI&Sクラス		外国語	English Communication I (会話・発表重視)	必修	4単位	廣瀬治美 Virginia Cordero Manoba
教科書	開隆堂「Stellar English Communication I」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。					
学習上の留意点	①中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ②英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストやプレゼンテーション、外国人の先生からの課題等を総合的に加味して評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	中学校の復習		中学レベルの長文をSVを中心に文構造を取りながら「正しく」読めるようになることを目標とする。		
		L1「The World's Beautiful Views」 動詞の時制/進行形/助動詞will		オニロラ、ウエニ瑠原や、竹田城跡、天神崎など、世界と日本の絶景にふれ、奇跡的な条件下で見られる風景の不思議さや、それを維持するための環境保護の大切さについて学びます。		
2 学 期	中間	L2「The History of Chocolate」 助動詞can,could/助動詞may,might/助動詞must,should/助動詞に準じる語句		チョコレートが古代のアステカ帝国やヨーロッパでたどってきた、意外な事実で満ちた歴史や、現在注目されているチョコレートの効能について学びます。		
	期末	L3「Serendipity」 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形/過去完了進行形 L4「The Secret World of Plants」 受動態/助動詞+受動態/比較級/最上級 L5「Fashion for Peace」 動名詞/不定詞(名詞的用法)/形式主語を用いた表現/不定詞(副詞的用法、形容詞的用法)		偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」。偉大な発見や身近なものの起源が偶然もたらされていたことを知ると同時に、そのような幸運を見つける方法について考えます。 ただ静かに生きているだけと思われる植物は、実は外界のさまざまな刺激に反応しコミュニケーションをとっています。最新の研究成果が明らかにしつつある植物の未知の能力に迫ります。 アフリカ中部に位置するコンゴ共和国で、ひときわ目をひくおしゃれな集団「サプール」。彼らが発信するメッセージを通して、平和の尊さについて考えます。		
3 学 期	学年末	L6「Animated Evolution」 前から修飾する分詞/後ろから修飾する分詞/知覚動詞/分詞構文 L7「The Charm of Vermeer's Paintings」 関係代名詞(主格/目的格/what/非制限用法)		世界で人気を博している日本のアニメーション。その制作技術の発展の歴史をたどります。 17世紀のオランダを代表する画家、フェルメール。彼の作品が多くの人を魅了し続ける秘密をひも解きます。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースI&Sクラス		外国語	英語コミュニケーション I (読解・文法重視)	必修	4単位	神林慶, 竹内典子 Jessica Allen, Safo Joseph Somuah
教科書	開隆堂「Stellar English Communication I」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身に着ける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に着け、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストやプレゼンテーション、外国人の先生からの課題等を総合的に加味して評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	中学校の復習		中学レベルの長文をSVを中心に文構造を取りながら「正しく」読めるようになることを目標とする。		
		L1「The World's Beautiful Views」 動詞の時制/進行形/助動詞will		オニロラ、ウエニ瑠原や、竹田城跡、天神崎など、世界と日本の絶景にふれ、奇跡的な条件下で見られる風景の不思議さや、それを維持するための環境保護の大切さについて学びます。		
2 学 期	中間	L2「The History of Chocolate」 助動詞can,could/助動詞may,might/助動詞must,should/助動詞に準じる語句		チョコレートが古代のアステカ帝国やヨーロッパでたどってきた、意外な事実で満ちた歴史や、現在注目されているチョコレートの効能について学びます。		
	期末	L3「Serendipity」 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形/過去完了進行形 L4「The Secret World of Plants」 受動態/助動詞+受動態/比較級/最上級 L5「Fashion for Peace」 動名詞/不定詞(名詞的用法)/形式主語を用いた表現/不定詞(副詞的用法、形容詞的用法)		偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」。偉大な発見や身近なものの起源が偶然もたらされていたことを知ると同時に、そのような幸運を見つける方法について考えます。 ただ静かに生きているだけと思われる植物は、実は外界のさまざまな刺激に反応しコミュニケーションをとっています。最新の研究成果が明らかにしつつある植物の未知の能力に迫ります。 アフリカ中部に位置するコンゴ共和国で、ひときわ目をひくおしゃれな集団「サプール」。彼らが発信するメッセージを通して、平和の尊さについて考えます。		
3 学 期	学年末	L6「Animated Evolution」 前から修飾する分詞/後ろから修飾する分詞/知覚動詞/分詞構文 L7「The Charm of Vermeer's Paintings」 関係代名詞(主格/目的格/what/非制限用法)		世界で人気を博している日本のアニメーション。その制作技術の発展の歴史をたどります。 17世紀のオランダを代表する画家、フェルメール。彼の作品が多くの人を魅了し続ける秘密をひも解きます。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修	4単位	神林慶, 西條永愛, 松浦隆 三田地楓人, Jessica Allen Virginia Cordero Manoba
教科書	開隆堂「Bloom English Communication I」		副教材等	KADOKAWA「肘井学のゼロから英単語が面白いほど覚えられる本」 開隆堂「Bloom English Communication I Workbook」		
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身につける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身につけ、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	中学校の復習		中学レベルの長文をSVを中心に文構造を取りながら「正しく」読めるようになることを目標とする。		
		L1「The Amazing Scenery」 動詞の現在形・過去形、進行形、未来表現		世界にはオーロラ、ウユニ塩原や竹田城跡、天神崎など、人々を魅了する美しい景色があります。それらの素晴らしい光景を目にするための条件について学びます。		
2 学 期	中間	L2「The History of Chocolate」 助動詞		古代アステカ帝国やヨーロッパでたどってきた約500年のチョコレートの歴史を知り、その驚きの変化やカカオポリフェノールなどの健康効果について学びます。		
	期末	L3「A Dog Trainer」 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形		イヌの訓練士として20年以上の経験を持つ伊藤陽子さん。彼女が何に仕事のやりがいを感じ、どのように挫折を乗り越えてきたのかを知り、その仕事の魅力に迫ります。		
3 学 期	学年末	L4「Wonder of Plants」 受動態、助動詞＋受動態、比較		植物が人間の思考を読み取ったり、根を通じて栄養や知識を共有したりしていると考えられる研究者がいます。私たちがまだ知らない、植物に秘められた可能性を探ります。		
		L5「Fashion for Peace」 動名詞、不定詞		アフリカのコンゴ共和国で、月収の何倍もする高級スーツを買って着飾り、平和を表現するサプールたち。その装いに込められたメッセージを読み解きます。		
3 学 期	学年末	L6「Serendipity」 現在分詞による修飾、知覚動詞、分詞構文		ポテトチップスやふせん、アイスクリームのコーンは、偶然から生まれた発明です。思わぬ発見を成功につなげた「セレンディピティ」の力を探ります。		
		L7「The Charm of Vermeer's Paintings」 関係代名詞(制限用法・非制限用法)		フェルメールは光と特別な青色を巧みに使い、『牛乳を注ぐ女』や『真珠の耳飾りの少女』などの名画を生み出しました。彼の作品が多くの人を魅了する秘密をひも解きます。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースI&Sクラス		外国語	論理・表現 I	必修	2単位	神林慶
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression I Advanced」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1200改訂版」 いっずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多様な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	中学校の復習		現在・過去・未来表現		
		※並行してLesson1,2も進めていく		完了形・進行形		
2 学 期	中間	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.		used to / would・助動詞+have+過去分詞		
		Lesson4 Have you ever tried it before?		第4文型／第5文型		
3 学 期	期末	Lesson5 What do you want to do after high school?		・激励する・励ます/計画する・予定する		
		Lesson6 Did you hear about the new shop?		【時制】		
4 学 期	中間	Lesson7 I'm happy to have you with us.		・経験を尋ねる/初めての経験を述べる		
		Lesson8 What sport do you like playing?		【完了形】		
5 学 期	期末	Lesson9 Digital media has come a long way.		・許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する		
		Lesson10 That's why I decided to go back.		【助動詞】		
6 学 期	中間	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?		・原因・影響を表す/喜び・驚きを表す		
		Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.		【受動態】		
7 学 期	期末	Lesson13 I'm glad to hear that.		・感謝する/謝罪する/弁解する		
		Lesson14 I'd like to recommend you to try...		【不定詞】		
8 学 期	中間	Lesson15 I'd like to recommend you to try...		・誘う・申し出る/推薦する		
		Lesson16 I'd like to recommend you to try...		【動名詞】		
9 学 期	期末	Lesson17 I'd like to recommend you to try...		・描写する/判断の根拠を述べる		
		Lesson18 I'd like to recommend you to try...		【分詞】		
10 学 期	中間	Lesson19 I'd like to recommend you to try...		・定義する/言い換える/経緯を説明する		
		Lesson20 I'd like to recommend you to try...		【関係詞】		
11 学 期	期末	Lesson21 I'd like to recommend you to try...		・提案する/称賛する		
		Lesson22 I'd like to recommend you to try...		【比較】		
12 学 期	中間	Lesson23 I'd like to recommend you to try...		・助言を求める・助言する/願望を表す		
		Lesson24 I'd like to recommend you to try...		【仮定法】		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現 I	必修	2単位	神林慶, 西條永愛 山田祐加, 三田地楓人 竹内典子
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」		副教材等	KADOKAWA「肘井学のゼロから英単語が面白いほど覚えられる本」 啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard WorkBook」		
授業のねらい	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習上の留意点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高める。 ②身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝える。 ③言語の運用に関する基礎的な知識を身につけるとともに、背景にある異文化への理解を深める。					
評価方法	年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	既習範囲の総復習		中学校で習った内容を復習する。		
		Lesson 1.2 (文の種類/文型と動詞)		クラブ活動をクラスに紹介することができる。 文化祭についてパートナーと話し合うことができる。		
2 学 期	中間	Lesson 3.4 (時制/完了形)		旅行の経験をクラスに話すことができる。 スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。		
	期末	Lesson 5.6.7 (助動詞/受動態/不定詞)		パートナーに将来の夢を語るすることができる。 買い物について質問したり、答えたりすることができる。 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。		
3 学 期	学年末	Lesson 8.9.10 (動名詞/分詞/関係詞)		スポーツをすることの利点について発表することができる。 自分自身や性格について発表することができる。 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースI&Sクラス		外国語	English Communication II (会話・発表重視)	必修	4単位	井上直美, Jessica Allen
教科書	開隆堂「Ambition English Communication II」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 単語・熟語、文法、英語構文を正しく理解し、日本語を介さず直読直解ができるようになること。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身につけ、教養を深める。 ③ 授業内での音読活動を通じて英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 英語の得意、不得意に関わらず日々の授業・復習(特に復習)に全力で取り組むこと。 ② 復習の際には本文の音読を必ず少なくとも5周はすること。 ③ 遅刻・欠席をできるだけしないこと。仮に遅刻・欠席をした場合、必ず誰かにノートを書かせてもらうこと。					
評価方法	定期考査、ターゲット1400の単語テスト、授業内の小テスト、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	前年度の復習		読解に必要な知識と技術を復習し、今後のLessonに向けて取り組みがしやすいようにする。		
		Lesson1 「Bird Migration」	Lesson2 「Atlanta: the Past, the Present, and the Future」	助動詞＋have＋過去分詞／前置詞＋関係代名詞／形式主語のit＋間接疑問文 関係副詞の非制限用法／to不定詞の否定／関係代名詞の働きをする語(as, than)		
2 学 期	中間	Lesson3 「Intentional Living」	Lesson4 「Amazing Grace」	If節中の主語と動詞の省略／be動詞＋to不定詞／同格のthat 関係代名詞what／過去完了進行形／独立不定詞		
	期末	Lesson5 「Personal Mobility Vehicles」	Lesson6 「Jacinda Ardern」	受け身の完了形／受け身の進行形／目的語が動名詞かto不定詞で意味が異なる動詞 名詞のくり返しを避けるthat [those]／肯定文の中のany／no matter＋疑問詞		
3 学 期	学年末	Lesson7 「Why Do We Have Sports?」	Lesson8 「Estonia and Its Digital Politics」	部分否定／強調構文／S＋V＋O＋Cの受け身 Soと接続詞thatを使った表現／未来完了／未来進行形		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースI&Sクラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ (読解・文法重視)	必修	4単位	陳野忠, 関京太 Safo Joseph Somuah Virginia Cordero Manoba
教科書	開隆堂「Ambition English CommunicationⅡ」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 単語・熟語、文法、英語構文を正しく理解し、日本語を介さず直読直解ができるようになること。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身につけ、教養を深める。 ③ 授業内での音読活動を通じて英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 英語の得意、不得意に関わらず日々の授業・復習(特に復習)に全力で取り組むこと。 ② 復習の際には本文の音読を必ず少なくとも5回はすること。 ③ 遅刻・欠席をできるだけしないこと。仮に遅刻・欠席をした場合、必ず誰かにノートを書かせてもらうこと。					
評価方法	定期考査、ターゲット1400の単語テスト、授業内の小テスト、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	前年度の復習		読解に必要な知識と技術を復習し、今後のLessonに向けて取り組みがしやすいようにする。		
		Lesson1 「Bird Migration」	Lesson2 「Atlanta: the Past, the Present, and the Future」	助動詞＋have＋過去分詞／前置詞＋関係代名詞／形式主語のit＋間接疑問文 関係副詞の非制限用法／to不定詞の否定／関係代名詞の働きをする語(as, than)		
2 学 期	中間	Lesson3 「Intentional Living」	Lesson4 「Amazing Grace」	If節中の主語と動詞の省略／be動詞＋to不定詞／同格のthat 関係代名詞what／過去完了進行形／独立不定詞		
	期末	Lesson5 「Personal Mobility Vehicles」	Lesson6 「Jacinda Ardern」	受け身の完了形／受け身の進行形／目的語が動名詞かto不定詞で意味が異なる動詞 名詞のくり返しを避けるthat [those]／肯定文の中のany／no matter＋疑問詞		
3 学 期	学年末	Lesson7 「Why Do We Have Sports?」	Lesson8 「Estonia and Its Digital Politics」	部分否定／強調構文／S＋V＋O＋Cの受け身 Soと接続詞thatを使った表現／未来完了／未来進行形		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修	4単位	井上直美 陳野忠 高坂直美 塩田志保 廣瀬治美 松浦隆
教科書	開隆堂 「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ」		副教材等	開隆堂 「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ WORKBOOK」 桐原書店 「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店 「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」		
授業のねらい	読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばすための素地を作る。					
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを実践するため、積極的・主体的に授業に参加してください。英検合格に向け、毎時間5分程度の英検対策を行う。					
評価方法	年4回の定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	Lesson 1 What is Attractive in Okinawa?		文型(SV/SVO/SVC/SVO(If節)/SVC(分詞) 沖縄の魅力や自分の好きな場所について話す		
		Lesson 2 What have the Japanese People Been Eating? ※上記の他に前年度の復習を行う。		文型(SVOO/SVOO(If節)/SVOO(that節) 日本食について知り、話すことができる		
		Lesson 3 High School Students' Volunteer Activities		現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 未来進行形		
		Lesson 4 Happy Time in Finland		不定詞、形式主語it、S find it ~that節、S think it ~to不定詞 あなたが訪れてみたい国について話す		
2 学 期	中間	Lesson 5 The Relay of Ahmed's Life		推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、would like to ~ would rather~(than...)		
		Lesson 6 Artificail Intelligence		SVOC、使役動詞、help+目的語+動詞の原形、知覚動詞 AIについて話す		
	期末	Lesson 7 Bando Is My Second Hometown		比較級+than+any other~、~times+比較級+than... one of +the +最上級、完了不定詞、S+seem to +V		
		Lesson 8 The Great Discovery Out of an Accident		受動態の分詞構文、連続した出来事を表す分詞構文 完了形の分詞構文、付帯状況のwith		
3 学 期	学年末	Lesson 9 Green Land Plan		関係代名詞、県警代名詞(非制限用法)、関係副詞、 関係副詞(非制限用法)		
		Lesson 10 The Mystery of Colors		仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法 no matter +疑問詞、複合関係詞		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースI&Sクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	2単位	陳野忠
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多彩な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 1年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	Lesson1. Future Goals		・文同士のつながり方を学び、自分の将来の夢について書く。		
		Lesson2. School Life		・考えを順序立てて述べ、好きな学校行事を紹介する。		
		※上記の他に前年度の復習を行う。		※ 中間考査に代わる小テスト・課題を実施予定。		
		Lesson3. Sports		・例示をしながら、好きなスポーツ選手について書く。		
2 学 期	中間	Lesson4. Information Age		・ソーシャルメディアの利点と欠点を比較し、議論する。		
		Lesson5. Environmental Issues		・因果を述べながら、エネルギー利用について書く。		
	期末	Lesson6. Cultures		・根拠を引きながら、ある国とその文化について書く。		
		Lesson7. Language Education		・公用語についての記事を理解し、それを要約する。		
Lesson8. Society		・日本文化についてのプレゼンテーションを要約する。				
Lesson9. Wishes		・説明を加えながら、自分が想像する場面を発表する。				
3 学 期	学年末	Lesson10. Science and Technology		・AIと共存するために必要なことを、データを示し発表する。		
		Lesson11. Health		・睡眠時間についてのディベートで、自分の意見を述べる。		
		Lesson12. Business		・チョコレートを売る際に重要な視点について議論する。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	2単位	井上直美, 高坂直美 手塚政世, 山田祐加
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Expression Ⅱ Hope New workbook」 桐原書店「Future Globe 表現のための英文法・語法問題」		
授業のねらい	論理・表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身に着けると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	Part 1 Lesson 1 「伝統行事がいくつもあるのね。」 ※上記の他に前年度の復習を行う。		主語の決定／見えない主語の発見／主語のit 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語		
		Lesson 2 「職業体験はどうだった？」		自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC		
2 学 期	中間	Lesson 3 「話したいことがあるんだ。」		使役動詞／知覚動詞／〈動詞＋O＋to do〉		
	期末	Lesson 4 「航空管制官として働きたいんだ。」		時制:「～する」／「～している」／「～した」／「～していた」 (現在形から完了形まで)		
Lesson 5 「そんな経験をもう一度したいわ。」		義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」				
Lesson 6 「これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。」		名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する関係代名詞 / 関係副詞				
3 学 期	学年末	Lesson 7 「携帯電話は私たちの生活になくてはならないもの？」		副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句・副詞節		
		Lesson 8 「犬と猫どっちが好き？」		原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(I)		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修 4単位	宮澤一輔, Jessica Allen
教科書	数研「BLUE MARBLE English CommunicationⅢ」		副教材等	アルク「ユメタン2」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標	
1 学 期	中間	Lesson1 「A Chance for Everyone to Shine」 Lesson2 「Protecting Our Brains from Smartphones」	黒田尚子が出会ったアジア人女性たちは、日本社会の中で孤立し自信を失っていた。黒田の開いたレストランを通して、誰もが輝くことができる社会について考える。 今やスマートフォンは私たちの生活に欠かせないが、使いすぎは脳過労をもたらす可能性がある。スマートフォンとの付き合い方について考える。		
	期末	Lesson3 「Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition」 Lesson4 「Paving the Way to a More Inclusive Society」	「包む」という行為は日本の伝統的な文化の一つだが、過剰包装は環境汚染につながりかねない。「包む」文化の問題点とその解決策について考える。 世界中で使用されている点字ブロックは、実は三宅精一という日本人男性によって開発された。開発の経緯と、最新の点字ブロックについて紹介する。		
2 学 期	期末	Lesson5 「Discovering Your Answers Through Art Thinking」 Lesson6 「Super Sniffers Saving the World」	近年、創造的な観点から問題を考える「アート思考」が注目を集めている。今日の複雑な社会におけるアート思考の重要性について考える。 動物の優れた嗅覚が人間の暮らしのさまざまな場面で役立てられている。捜索・救出活動、病気の発見、地雷探知など、動物の嗅覚がもたらす恩恵を紹介する。		
		Lesson7 「Perceptions of Time in Different Cultures」 Lesson8 「The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call」	異文化圏の人々と交流すると、時間感覚の違いに驚かされることがある。Mタイム文化とPタイム文化における時間感覚の違いについて学ぶ。 北極圏の凍った土壌層である永久凍土が、地球温暖化によって溶け始めている。融解によって起こりうるさまざまな悪影響について学ぶ。		
3 学 期	学年末				

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S)		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修 4単位	関京太, 陳野忠 Virginia Cordero Manoba 廣瀬治美
教科書	数研「BLUE MARBLE English CommunicationⅢ」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1900 6訂版」 いづな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 「A Chance for Everyone to Shine」 Lesson2 「Protecting Our Brains from Smartphones」	黒田尚子が出会ったアジア人女性たちは、日本社会の中で孤立し自信を失っていた。黒田の開いたレストランを通して、誰もが輝くことができる社会について考える。 今やスマートフォンは私たちの生活に欠かせないが、使いすぎは脳過労をもたらす可能性がある。スマートフォンとの付き合い方について考える。		
	期末	Lesson3 「Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition」 Lesson4 「Paving the Way to a More Inclusive Society」	「包む」という行為は日本の伝統的な文化の一つだが、過剰包装は環境汚染につながりかねない。「包む」文化の問題点とその解決策について考える。 世界中で使用されている点字ブロックは、実は三宅精一という日本人男性によって開発された。開発の経緯と、最新の点字ブロックについて紹介する。		
2 学 期	期末	Lesson5 「Discovering Your Answers Through Art Thinking」 Lesson6 「Super Sniffers Saving the World」	近年、創造的な観点から問題を考える「アート思考」が注目を集めている。今日の複雑な社会におけるアート思考の重要性について考える。 動物の優れた嗅覚が人間の暮らしのさまざまな場面で役立てられている。捜索・救出活動、病気の発見、地雷探知など、動物の嗅覚がもたらす恩恵を紹介する。		
		Lesson7 「Perceptions of Time in Different Cultures」 Lesson8 「The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call」	異文化圏の人々と交流すると、時間感覚の違いに驚かされることがある。Mタイム文化とPタイム文化における時間感覚の違いについて学ぶ。 北極圏の凍った土壌層である永久凍土が、地球温暖化によって溶け始めている。融解によって起こりうるさまざまな悪影響について学ぶ。		
3 学 期	学年末				

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修	4単位	宮澤一輔, 陳野忠 松浦隆, 竹内典子 Jessica Allen Virginia Cordero Manoba
教科書	開隆堂 「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅢ」		副教材等	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅢ WORKBOOK」 桐原書店「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」		
授業のねらい	①新出単語を中心に語彙を増やし英文の構造を理解する。 ②できるだけ前から読み下し内容を理解できるようにする。 ③文章の流れや要旨を英語で説明できるようにする。					
学習上の留意点	①音読を中心とした復習の習慣を身につけること。 ②取り組むべき課題、宿題などは必ず期限内に取り組み提出すること。 ③各自で課題を見つけ、積極的に取り組むこと。					
評価方法	定期試験、及び日常の小テストを総合的に加味して評価をする。また、ネイティブ教員によるオーラルコミュニケーションの授業での取り組み、提出物、テストなども加味して総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1 Take a Walk in Paris		should,mightなどの助動詞の使い方に注意し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。		
		Lesson 2 Coffee Is Still Mysterious		間接話法の表現方法に注意し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。		
	期末	Lesson 3 Why Do We Go to the Library?		不定詞の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。		
		Lesson 4 The Special Relationship between Juno and Lucas		様々な関係詞の使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて、内容の理解を深める。		
2 学 期	期末	Lesson 5 The Best Baker in the World		分詞の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。		
		Lesson 6 Fujita Tsuguharu:The Man Loved throughout the World		仮定法の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。		
		Lesson 7 The 2048 Problem		様々な副詞節を理解し、英文を正しく読む事を通じて、内容の理解を深める。		
		Lesson 8 Be free, or Die!		様々な否定語、否定表現を理解し、英文を正しく読む事を通じ、内容の理解を深める。		
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(I)		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	宮澤一輔
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」		副教材等	アルク「ユメタン2」		
授業のねらい	① 英検2級取得および、一般選抜(共通テスト・個別入試)を見据え、構文力・作文力を高める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、「伝えたいことをどう伝えるべきか」を学ぶ。(インプット) ③ 習得した知識を踏まえ、英作文問題・リスニング問題に対応する力をつける。(アウトプット)					
学習上の留意点	① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1／Lesson2【学習・言語】		・助言や譲歩の表現を用いて、プレゼンテーションをする。		
		Lesson3／Lesson4【心理】		・関係性や判断の根拠を示して、レポートを書く。		
	期末	Lesson5／Lesson6【健康】		・利点や結果を示しながら、パラグラフを書く。		
		Lesson7／Lesson8【異文化】		・影響や他との差異に触れながら、レポートを書く。		
2 学 期	期末	Lesson9／Lesson10【情報化社会】		・利点と欠点を対比し、理由を示して、コメントを書く。		
		Lesson11／Lesson12【社会構成】		・社会の多様化について、対比をしながら意見を述べる。		
		Lesson13／Lesson14【経済】		・電子決済や所得格差について、意見を述べる。		
		Lesson15／Lesson16【環境問題】		・環境問題の原因と解決策について、発表する。		
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S)		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	関京太, 陳野忠
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1900 6訂版」 いっずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 英検2級取得および、一般選抜(共通テスト・個別入試)を見据え、構文力・作文力を高める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、「伝えたいことをどう伝えるべきか」を学ぶ。(インプット) ③ 習得した知識を踏まえ、英作文問題・リスニング問題に対応する力をつける。(アウトプット)					
学習上の留意点	① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1／Lesson2 【学習・言語】		・助言や譲歩の表現を用いて、プレゼンテーションをする。		
		Lesson3／Lesson4 【心理】		・関係性や判断の根拠を示して、レポートを書く。		
	期末	Lesson5／Lesson6 【健康】		・利点や結果を示しながら、パラグラフを書く。		
		Lesson7／Lesson8 【異文化】		・影響や他との差異に触れながら、レポートを書く。		
2 学 期	期末	Lesson9／Lesson10 【情報化社会】		・利点と欠点を対比し、理由を示して、コメントを書く。		
		Lesson11／Lesson12 【社会構成】		・社会の多様化について、対比をしながら意見を述べる。		
		Lesson13／Lesson14 【経済】		・電子決済や所得格差について、意見を述べる。		
		Lesson15／Lesson16 【環境問題】		・環境問題の原因と解決策について、発表する。		
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	星雅之, 手塚政世 山田祐加
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート」		
授業のねらい	語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験等で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 Friendship and improvement		「助言」をテーマに、相談メールに散りばめられている表現を学んでいく。		
		Lesson2 Which is better, a paper or an electronic dictionary?		「譲歩」をテーマに商品説明を通して様々な表現を学んでいく。		
	期末	Lesson3 Can you change your personality?		「関係」をテーマに、新聞のコラムを通じて様々な表現を学んでいく。		
		Lesson4 How do we make decisions?		「判断の根拠」をテーマに、講義形式の文を読み、様々な表現を学んでいく。		
2 学 期	期末	Lesson5 Online doctor consultations		「代替」をテーマに、よくウェブサイトに出てくる表現を学んでいく。		
		Lesson6 Healthy lifestyle		「結果」をテーマに、友人との会話の中で使われる表現を学んでいく。		
		Lesson7 What do you do after school?		「物事への正負の影響」をテーマに、メール文面でよく使われる表現を学んでいく。		
		Lesson8 Direct and indirect ways of communication		「差異」をテーマに、オンライン講義を通してよく使われる表現を学んでいく。		
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(I)		外国語	英語演習	必修	2単位	宮澤一輔
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい		① 共通テストの長文に対応しうる速読力を身に着ける。 ② CEFR B1レベルの語彙を確実に身に着ける。				
学習上の留意点		① 読解中で分からなかった語彙・文法はその都度復習し定着させること。 ② 精読は意識せず、要点を掴みながら読む多読を意識すること。				
評価方法		学期末の評価テスト・授業態度で評価する。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英文多読演習 ① 問題ごとの特徴把握 ② 修飾関係の読み取り 英検対策		① データ・旅行日程の読み取りなど問題の特徴を把握し注意して読むべきポイントを整理する。 ② 文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。 英検対策として、「速読」演習を授業冒頭に取り入れる。		
	期末	読解問題演習(記述式) 読解問題演習(マーク式)		6月下旬に受験する進研記述模試に向けて、 ① 答えの探し方(どの表現をヒントにするか)を確認する。 ② 答えのまとめ方(字数による視点の違い)を習得する。 河合マーク模試や夏休みの学習に向けて、 ① 答えの探し方と選択肢の選び方を習得する。 ② 「記述式よりマーク式の方が簡単」という認識を改める。		
2 学 期	期末	過去問演習(資料読解など)		共通テスト・私大一般		
		過去問演習(内容説明問題など)				
		過去問演習(文法問題)		共通テスト・私大一般		
		過去問演習(選択・記述問題)				
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S文系)		外国語	英語演習	必修	2単位	関京太
教科書	自主教材		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1900 6訂版」 いっずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい		① 個別入試過去問の演習(主に長文読解)を通じ、解答力・得点力を高める。 ② 自身の弱点(語彙・文法・構文等)を把握し、自らその補強に取り組む姿勢を身に着ける。				
学習上の留意点		① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。				
評価方法		定期考査に準ずる授業内テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	実力チェックテスト		一般選抜突破に向けて、現在の実力を把握する。		
	期末	私大・国公立大二次対策 演習		入試過去問の演習を通じて、解答力・得点力を高める。		
2 学 期	期末					
	学年末					
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(I)		外国語	時事英語	必修	1単位	関京太
教科書	ジャパンタイムズ出版「世界の視点を読む ニュース英語入門2026年版」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	英字新聞などの資料に慣れ親しみ、それらの読解のノウハウの習得を目指す。また、現在の社会で起こっている様々なことに興味・関心を持ったうえで、メディア・リテラシーを身に付ける。					
学習上の留意点	日本語の背景知識および基本的な政治・経済、歴史の知識の増強も同時に各人で進めること。また、家庭学習において音読、リスニング、問題演習などの予習・復習は必須となる。					
評価方法	授業内テストを期末に1回(または学期に2回)実施する。 また、提出物や授業への取り組みも平常点として加味する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英字新聞の特徴について		英字新聞特有の表記方法などについて解説する。 Headline、Lead、Body(本文)などの構成および読解の際の注意点などについて学ぶ。		
		健康 文化 / 考査			テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 ニュースソース(情報源)について学ぶ	
	期末	科学技術		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得		
		医療 観光 考査			世界的な医薬品不足など最新の医療事情について知る インバウンドや観光立国としての戦略について学ぶ	
2 学 期	期末	交通 経済 宇宙		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 基本的な経済の仕組みやマネーの知識を学ぶ 宇宙開発の最先端事情について学ぶ		
		スポーツ / 考査			テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得	
		政治		米中対立とその影響等について学ぶ		
		歴史 I 歴史 II 考査				自分たちのルールを知る大切さについて学ぶ
3 学 期	学年末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(I)		外国語	higashino special	必修	2単位	Virginia Cordero Manoba 西條永愛
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」と位置付け、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする。					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること。					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.28		名詞節		
		Lesson.29		仮定法(1)		
Lesson.30		仮定法(2)				
Review		Lesson28～30				
期 末	期 末	Lesson.31		仮定法現在		
		Lesson.32		代名詞		
		Lesson.33		否定		
		Review		Lesson31～33		
2 学 期	期 末	Lesson.34		強調		
		Lesson.35		語順		
		Lesson.36		さまざまな日常表現(1)		
		Review		Lesson34～36		
		Lesson.37		さまざまな日常表現(2)		
		Lesson.38		さまざまな日常表現(3)		
Lesson.39.40		さまざまな日常表現(4)(5)				
Review		Lesson37～40				
3 学 期	学 年 末					

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語探究	選択	2単位	井上直美
教科書	自主教材		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	日本の文化や日本人のものの考え方を英語で発信しながら、世界から見た日本やグローバルな社会課題についても一緒に考えていきます。対話を重ねながら、多様な視点に触れつつ考察を深めます。英語を通して、自分と世界とのつながりを知り、感じ、伝えることを大切にしています。					
学習上の留意点	①「なぜか？」を何度も考えるようにすること。 ②少しでもオリジナル要素を入れるようにすること。 ③小さくても良いので自分なりの結論を出すようにすること。					
評価方法	レポート、プレゼンテーション資料および発表、平常点で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	発信(アウトプットの出発点)		日本の文化や日本人の考え方を、英語で世界に向けて発信する。		
	期末	視野拡張(外からの視点の導入)		世界から見た日本や、グローバルな社会課題についても視野を広げる。		
2 学 期	期末	対話・探究(理解の深化)		対話を重ね、多様な視点に触れながら考察を深めていく。		
		内省とつながり(自己と世界の統合)		英語を通して、自分と世界とのつながりを知り、感じ、それを伝える。		
3 学 期	学年末					